

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立光南台中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒 702-8013
岡山県岡山市南区飽浦390
 E-mail : konandaic@city-okayama.ed.jp
 Website : http://www.city-okayama.ed.jp/~konandaic/
 児童生徒数：男子 106 名 女子 72 名 合計 178 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

ユネスコスクールとしての活動

<総合的な学習の時間>

	活動内容	ねらい
1 年 生	<p>[学年テーマ] わたし 地球上の環境問題とわたしとのつながりを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球を取り巻く環境問題についての調べ学習 平林金属・めだかの学校・最終処分場の見学 家庭ごみの調査 	<p>地球で現在起こっている環境問題を正しく捉えさせ、その環境問題の一員は豊かな生活を送っている「わたし」の家庭にもあるということを認識させる。</p> <p>地球の住人は人間だけではなく身の回りに多様な生物も存在し、共存していくべきであるということを再認識させる。</p>
2 年 生	<p>[学年テーマ] わたしとまわり 児島湖について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> 児島湖の干拓の歴史を知る。 児島湖下水処理場の見学 児島湖流域環境保全推進ポスターの作成 	<p>1年生のときよりもさらに視野を広く目を向けさせ、身近にあふれる野山や海辺などに触れさせることを通して自然の豊かさを感じ、人も自然の一部であるということを理解して、自然を慈しむ心を持たせる。</p> <p>また地域の成り立ちを知り、先人たちの築いた歴史を学ぶことによって地域を大切に思う心を育てる。</p>
3 年 生	<p>[学年テーマ] その後どうするか 中学卒業後にどのような大人になるべきかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動とESDについて学ぶ 持続可能な世の中を作り上げようと活動をしている団体や個人についての調べ学習 これからの自分の生き方について 	<p>ESDの概念について学んだ後、ESDの要素がいかに学校教育に盛り込まれているかを認識させる。</p> <p>また、各班で持続可能な世の中を作り上げようと活動している団体や個人を自由に取り上げて、その人の活動やそれに至った社会背景、世の中を与える影響を調べて発表することを通して、人類の将来を考えて前向きに行動しようとする心を育てる。</p> <p>発表後はESD的観点から見た「自分がなりたい大人像」を考え、そのためには何が必要かをディスカッションさせてコミュニケーション能力を高める。</p>

1年生

家庭ごみの調査や分析をし、ごみの種類や量、それがどこから家庭へ来たのか、家庭から出た行先などを調べてまとめた。また、地球を取り巻く環境問題を調べ、それを模造紙にまとめて発表会を行った。

10月末に、岡山市環境学習センター「めだかの学校」と平林金属リサイクルファームへ行き、自分たちの家から出たごみの行方とその処理のされ方や、自分たちの身近にいる水生生物の観察を行った。

2年生

DVDや岡山県が作成した児島湖についてのパンフレットを用いて、過去の光南台学区の地形、児島湾が干拓に至った背景やその作業の様子、締め切り堤防建設の理由と工事の様子や締め切り堤防完成後の児島湖の水質悪化と現状について学んだ。学習後に岡山県児島湖流域下水道浄化センターへ赴き、家庭などから排出された汚水がどのようにして浄化され、児島湖へ放流されているのかを学んだ。学習のまとめとして、児島湖流域環境保全推進ポスターを作成した。

3年生

ESDの概念が生まれた経緯と、それを通じて育みたい人間像について学んだ。また、今まで学校で学んだ9教科の授業や総合、学校行事等の中でESDの概念だと思われる個所を抜き出し、学校教育とESDが深く関わっているこ

とを認識させた。次に、持続可能な世の中を作るために活動している個人や団体などを各班で取り上げ、その活動が行われるに至った経緯や社会背景、活動の詳細な様子や、社会に及ぼす影響などについて調べ学習を行い、クラスでDVDやプロジェクター、教材提示装置などを用いて発表会を行った。まとめとして将来、持続可能な世の中の中の作る人間になるためにはどのようなことを心掛けていくべきかを考え、班で討論した。

<各教科>

	教科	単元と学習内容
1年	国語	「流氷と私たちの暮らし」 北国では身近である流氷の接岸時期の変化から、地球環境の悪化を感じ、自らの生活に照らし合わせて環境問題を捉える。
		「江戸からのメッセージ」 江戸の生活からリユースやリサイクルの知恵を読み取り、現在の生活に照らし合わせて考えを深める。
2年	国語	「枕草子」 日本特有の四季の移り変わりの美しさを読み取り、自然を慈しむ心を育む。
	社会	「近代史」 過去に日本で起こった公害問題を扱い、産業の発展と環境問題の共存について学ぶ。
	保健	「健康と環境」 飲料水の汚染と衛生管理、生活に伴う廃棄物や環境汚染の実態と人に及ぼす健康問題について学ぶ。
3年	社会	「宇宙船地球号」 現在地球上で起こっている環境問題を広義に捉え、これからの生活について考える。
	理科	「食物連鎖」 世の中の自然の摂理を学び、自らも自然の一員であるという認識を深める。
		「資源とエネルギー」 世界の資源は限りがあるということや実社会で利用しているエネルギーについて、また現在起こっている自然環境の問題や科学技術の進歩とそれに伴う人間生活の変化などを扱い、環境問題を科学的に捉える。
技術	「エネルギー変換」「4R」 代替エネルギーについて学び、これからの生活のあり方について学ぶ。	

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）